

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
 アライダシ  
**自然観察教育林**  
 34  
 東濃森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

**アライダシ自然観察教育林**

〔東濃署〕 当署が管理している上村恵那国有林は、恵那市上矢作町の東北部に位置しており、面積は四一七五畝で、町の約三分の一の面積を国有林が占めています。

大半がスギ・ヒノキを主体とした人工林で占められており、平成十二年には恵那南豪雨災害によって甚大な被害に見舞われ、八年経った現在もその復旧作業が続けられています。

この上村恵那国有林には、古くからアライダシと呼ばれる地区があり、約十畝にわたってモミヤツガ、ブナやミズナラなどの天然木が多種多様に広がり、美しい森林景観を作り出しています。

現在は、レクリエーションの森「アライダシ自然観察教育林」として遊歩道が整備され、地元住民をはじめ散策に訪れた多くの森林愛好者に利用されています。

昨年、当署と地元の上矢作町まちづくり

り委員会の協働により、自然観察教育林の案内パンフレットを作成したところ、散策される方から大変ご好評を頂いています。

国有林境である尾根を一步超えると大船牧場が広がっており、その広い敷地には、風力発電を目的とした十三基の大型風車がそびえ立ち、迫力満点の景観を生み出しています。

この風車は高さが六十五メートルあり一年間で一八〇〇万キロワット(平均的な一般家庭約四六〇〇軒分)もの電力を供給しています。

風力を利用した発電であることから、重油に換算すると一年間で約四五〇〇キロワットの資源が削減されることとなります。また、二酸化炭素の排出量約九九〇〇トンの削減が可能であり、地球温暖化の抑制に貢献していると共に、地元住民からは「かみやはぎ風の森」と呼ばれ、憩いの場として親しまれています。

今年の上矢作町で、風力発電施設と自然観察教育林を案内できるガイドの養成講座も計画されており、県内外を問わず、より多くの人に親しんでもらえる場所として、地元からも期待されています。

◇アクセス方法

国道四一八号線より暗井沢林道を経由して大船牧場へ至る。(十三km)

自然観察教育林までは徒歩で移動

(一・七km)



そびえ立つブナの巨木



迫力満点の風車群